

第 16 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会へのご案内

大阪泌尿器科臨床医会の諸先生方には、平素より大阪急性期・総合医療センター、大阪警察病院が一方ならずお世話になり御礼申し上げます。

私ども両名は、近年とみに関心を集めております骨盤臓器脱の手術について討論する標記の学会を来る3月25日(土)-26日(日)に大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催させていただくこととなりました。すでに参加登録を開始しております。

(<https://www.coac.jp/jpops2023/>)

骨盤臓器脱に対する手術治療は、2005年のTVM(Tension free Vaginal Mesh)法の登場により大きく変貌いたしました。本学会は、その翌年に発足して、わが国におけるTVM手術手技の普及と、安全性の向上に寄与してまいりました。一方で、腹腔鏡下仙骨靭帯固定術(Laparoscopic Sacrocolpopexy, LSC)が骨盤臓器脱手術の術式として重要な位置を占めるようになり、近年ではロボット補助下手術が急速な普及を見せております。腔式手術を中心とした従来術式(Native Tissue Repair, NTR)は、依然として骨盤臓器脱手術の基本と考えますが、腹腔鏡や経膈腹腔鏡手術(V-NOTES)によるNTR術式が保険収載されたことで、NTRについても新たな展開が始まっています。

このように骨盤臓器脱の手術治療はますます多様性を増しています。泌尿器科の一般診療にご活躍の先生方にも、最新の骨盤臓器脱手術についてご案内できる本学術集会にぜひお越しいただきたいと思っております。どうぞお誘い合わせのうえご参加ください。

なお、本学術集会に財政上のご支援をいただける先生方がおられましたら、ご協力をいただければ大変有り難く存じます。大阪警察病院 西尾幸浩 (chief_obgyn@oph.gr.jp) までご一報下されば、詳細につきご案内をさせていただきます。

未筆ながら、先生方のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

2023年2月吉日

第16回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会

会長 竹村 昌彦

大阪急性期・総合医療センター 産科・婦人科 主任部長

会長 西尾 幸浩

大阪警察病院 産婦人科 顧問